

イメージキャラクター
「ベズ」

みなとしみず

発行

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所

静岡市清水区日の出町7番2号

TEL. 054-352-4146(代表)

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

小学生が下田港作業基地を見学しました

10月14日(木)、下田市立浜崎小学校4年生28名が下田港防波堤を見学しました。

下田港防波堤は、船舶の避難港として主に防波堤を整備し、高波や津波から港や地域を守る役割を担っています。今回の見学は、小学校の防災学習の一環として、小学校からの申し込みにより開催されました。

当日は、下田市福浦にある下田港防波堤作業基地で、フローティングドック(内部のタンクに水を出し入れすることにより、沈下・浮上が可能な浮きドック)を使って作られているケーソン製作現場を見学し、船に乗って実際に海に据付けられている防波堤を見学しました。

小学生は防波堤の構造や、消波ブロックの役割など、自分たちの住む街を守る防波堤について真剣に説明を聞いていました。

小学生からは、ケーソンの重さや防波堤の作り方のほかに、「ケーソンや消波ブロックはいくらでできるのか」、「どんなお金を使っているのか」など様々な質問が飛び出し、防波堤を含め公共の施設は税金で整備されていることを説明すると、「私たちを守るために税金を使っているということがわかってよかったです。」と、子供の視点から理解してもらえたようです。

ひとりでも多くの方に公共事業をご理解いただけるよう、みなとづくり見学会や現場見学会などの広報活動を続けてまいります。



下田防波堤作業基地に到着



熱心に説明を聞く子供たちの様子



フローティングの上で製作しているケーソンを見学

フローティングドックを使ったケーソン製作をご紹介します。



海に浮かぶフローティングドック(以下、FD)の上でケーソンを製作します。



約5,000トンのケーソンが完成



FDに注水すると、FDが沈みケーソンが浮き上がってきます。



ケーソンは、浮いたままクレーン台船で防波堤まで運ばれます。

ファインダーの向こう

これは、清水港マリンパークにあるテルファークレーンです。このクレーンは今から約80年前の1928年に、当時この場所にあった国鉄清水港駅で、木材を船から貨車に積み込むために造られました。機能的でいて、同時に美しい曲線が私はとても気に入っています。当時としては最新式で荷役時間と費用が大幅に削減されたとのこと。その後、時代の流れとともに役割を終えましたが、清水港の近代化の歴史を今に伝える貴重な近代化遺産として修復・保存されています。2000年には文化庁から登録有形文化財として指定されました。

港に行くと大きなガントリークレーンやニューマチックアンローダーなどの近代的な荷役機械に目を奪われ、昔のことを想像できなくなってしまうがちです。古いものを全て壊してしまうのではなく、港の発展を担ってきたテルファークレーンのような施設も大切にしていきたいと思います。

清水港湾事務所長 藤井 敦



Photo : A.Fujii

清水港の物流の核心～清水港コンテナターミナル～

静岡県における物流の核ともいえるのが清水港のコンテナターミナルです。コンテナターミナルとは、コンテナの海上輸送と陸上輸送を結ぶ港湾施設の総称で、清水港では袖師ふ頭と、新興津ふ頭の2カ所がコンテナターミナルとして運用されています。

今号では、上記2カ所のコンテナターミナルの現地写真などを交えながら清水港とコンテナ物流の状況についてご紹介したいと思います。

日本における国際コンテナの幕開けは、今から40年前の昭和42年です。東京・神戸に北米との航路が開港されました。清水港には、昭和45年にパシフィックバンカー号が初めて寄港しました。コンテナは、荷役スピードが速く、貨物の損傷が少ないこと等から、現在では国際物流の主流になっており、我々の便利な生活はコンテナなしでは成り立ちません。

このような国際物流を支える清水港のコンテナターミナルでは、コンテナ船の入港料や施設使用料なども他港に比べ割安であると共に、全国に先駆けてコンテナの24時間荷役が導入されています。現在では、年2,000隻のコンテナ船が入港し、約57万TEU（20フィートコンテナ換算個数）のコンテナが取り扱われています。（外貿コンテナ個数全国7位）

港湾利用者や関係行政機関等の連携・協力によって、ここまで成長してきた清水港のコンテナターミナルですが、ゲート混雑や、ヤードの不足、船舶の急激な大型化によって喫水調整（前の港で積み荷を下ろす等して船底を浅めに調整してくること）が必要な船が増加しているなど、今ではすでに能力の限界に達しています。

静岡県では今年上半期（1～6月）の企業立地件数が全国1位を記録し、清水港の輸入額は30ヶ月連続の増加、五年連続コンテナ取扱貨物量が過去最高を更新するなど、ますます清水港に貨物が集中しているので、コンテナ機能の増強は清水港における最重要課題となっています。新興津ふ頭第2バースの予算確保に向けて、関係者が一体となって努力しています。

地域の産業と豊かな生活を支えている清水港が、ますます発展してゆくようがんばっていききたいと思います。

記事協力：(株) 清水コンテナターミナル

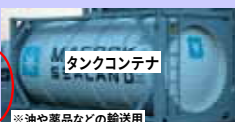
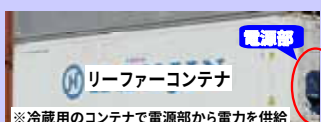
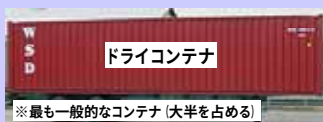


<豆知識>

船やトレーラー、列車などが運んでいる“箱”のことをコンテナと呼んでいます。コンテナには、日用品などを運ぶドライコンテナや、食品などを運ぶための冷蔵・冷凍ができるリーファーコンテナ、液体を運ぶタンクコンテナなど、いろんな種類があります。

現在使われているコンテナは、長さが20フィート（約6m）のものと40フィート（約12m）のものが主流です。

清水港で取り扱われているコンテナの中身は、輸出ではオートバイや楽器プラモデルなど、輸入ではサッカーボールや衣類などの日用品やワインなどの食料品があります。



【袖師ふ頭】



【新興津ふ頭】



平成19年8月にオープンした新興津ゲート



ヤード内にある冷凍電源施設です。冷凍・冷蔵コンテナに使われます。

出典：「清水港開港100年史」静岡県発行



清水港に最初に寄港したコンテナ船
パシフィックバンカー号（昭和45年1月）

マグロに注目！～清水港マグロまつり～開催

地域資源を最大限に活用したシティーセールス推進事業の一環として、清水港が日本一の水揚げを誇るマグロに焦点をあてた「清水港マグロまつり2007」が10月5日（金）と7日（日）の2日間にわたり静岡市主催で開催されました。

5日（金）には、マグロに関する知識を深めてもらおうと海洋環境や冷凍技術などについての市民フォーラムがあり、7日（金）には、マグロの解体ショーや－60℃のマグロの冷凍倉庫体験、鉄火巻き日本一に挑戦！など様々なイベントが繰り広げられ、まさに“まぐろづくしのお祭りDay”となりました。

清水港は、マグロの水揚げ量のほかにプラモデルの輸出や、サッカーボールの輸入などが日本一であり、こういった地域の活力を最大限に支えるために、港は欠かせないものと言えます。



「鉄火巻き日本一に挑戦！」の様子。306mもある、日本一の鉄火巻きが完成しました。

日本丸が清水港にやってきた！

10月13日（土）、帆船「日本丸」が清水港日の出ふ頭に入港しました。

日本丸は、独立行政法人航海訓練所の訓練船で、今回は清水海上技術短期大学（静岡市清水区折戸）の専修科の2年生88名が実習生として乗船しています。

今回の実習生は、9月10日に半年間の銀河丸での訓練を終えたばかりで、息つく間もなく10月5日に日本丸に乗船し、さらに半年間の乗船実習に臨んでいます。

故郷で見守っている家族や友達のためにも、「協調」を大切に訓練を続け、将来は海の仕事で活躍されることを期待しております。



実習生たちがセイルドリルを披露。帆が全開になると、見学者から拍手が沸き起こりました。



出港時には、マストに登り「ごきげんよう」と挨拶をする登櫓礼（とうしやうれい）を披露してくれました。

美しい海を残したい～NPO法人 Be-club～

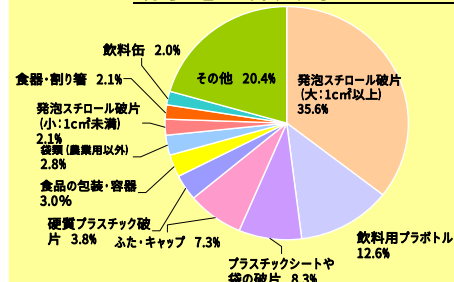
10/7（日）清水港の三保真崎灯台周辺で、NPO法人Be-club主催のクリーンアップ（海岸清掃）が開催され、約60名の参加がありました。

主催者である「NPO法人Be-club」は、クリーンアップやイベントを通して街の活性化、環境の保全、青少年の健全育成に寄与することを目的としており、清水港のゴミの傾向の調や中学生に対する体験学習を実施しています。

NPO法人Be-clubが実施するクリーンアップは、世界共通のゴミデータカードに基づいてゴミを集め、世界的傾向の集計に参加しています。

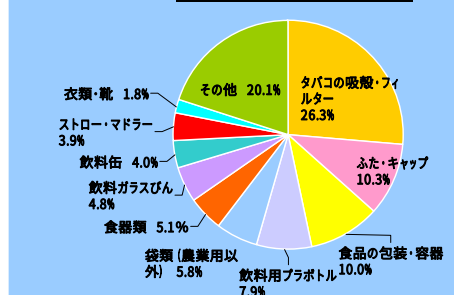
清水港には、富士山や三保の松原などの美しい自然の景観があります。その美しい景観を守っていくためにも市民、企業、行政が一体となって海を大切にしていかなければなりません。

清水港三保真崎ワースト10



資料提供 NPO法人Be-club (2007年データ)

世界総合ワースト10



資料提供 クリーンアップ全国事務所 (2005年データ)

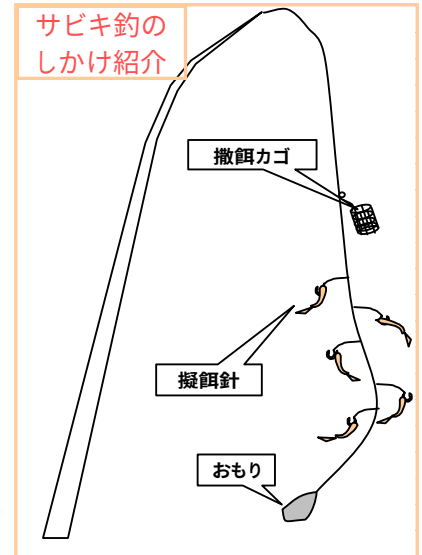
港うお(魚)ツチャー

おつまみ編
(釣りバカリチョー：監修)



アジの南蛮漬け

サビキ釣の
しかけ紹介



「秋の夜長って言うじゃない？ 読書もいいけど晩酌のつまみがほしいんだよね」

「人間界にはコンビニっていう便利なお店があるって聞いているけどお」

「そうじゃなくって清水港ならではっていか、なんか小料理的なさあ…」

「お手軽な料理なら、小アジなどの小魚を釣って南蛮漬けなんかにしたらつまみにグーでしょ。」

「それぞれ、そういうですよ。どうやって釣るの？」

「サビキ釣りが早い。捲きエサのアミエビを撒餌カゴに入れてその下にアミエビに似せた擬餌針を何本か枝針にして出し、撒餌をしながらそのサビキ針に食わせるって釣り方さ。三保はそのサビキ仕掛けや、大物を狙ってオキアミを刺し餌にしてのカゴ釣り仕掛けを遠投してポイントを直撃するスナイパー釣師が数多くいる投げ釣りのメッカともいえるところだよ。」

「やってみたいなあ、投げサビキ。秋晴れの富士山に向かってフルスイングの爽快感、その

先には南蛮漬けが待ってるわけだ。」

「それは釣ってからの話だね。それじゃあ三保飛行場前、三保防波堤周辺で

Let's enjoy fishing !!」

売土地のおしらせ

国有地の売払を行います。

詳しくは下記問い合わせ先までご連絡ください。

物件：御前崎市白羽字間藤原5407-16

宅地 1,148.02㎡ (347.27坪)

都市計画地域内用途指定なし／建ぺい率60％／容積率200％

工作物 1式

(囲障、屋外溝(一部)、舗床(一部)、土留及び道路反射鏡)

現地説明会：平成20年1月中旬予定

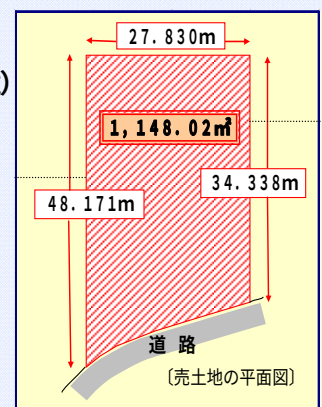
入札：平成20年1月下旬予定

問い合わせ先：国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

〒424-0922 静岡市清水区日の出町7-2

電話 054(352)4146 (管財係：杉山)

お問い合わせ受付期間：11/16(金) 17:15まで



海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間：9時～12時 13時～17時(土・日・祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本誌に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

太田・屋敷

TEL 054-352-4148

e-mail shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp

